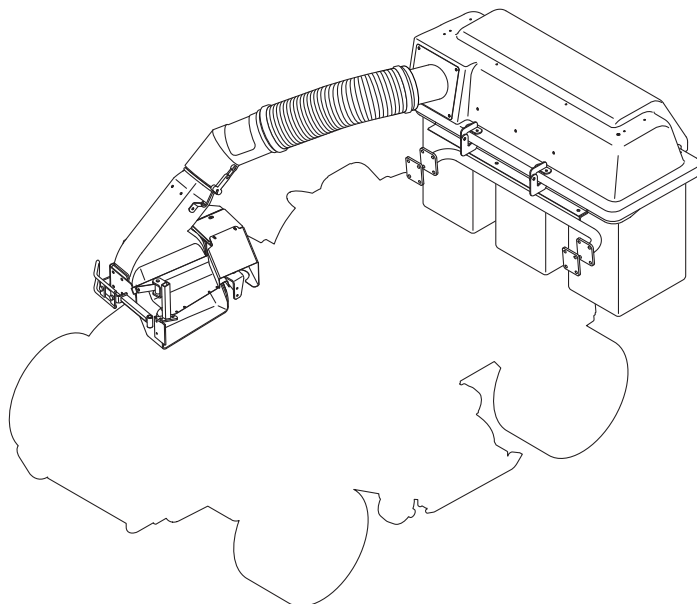


GM1700

GM1700 用グラスキャッチャー

取扱説明書



Serial No. GM1700 : 21202- (GM1700 車両本体)

「必読」
ご使用前に必ず本書をお読みください。

BARONESS[®]
Quality on Demand

Ver.1.7

ごあいさつ

このたびは、バロネス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本書は、この製品の正しい取り扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。

いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

なお、車両本体についての取り扱い方法と調整方法、また点検方法については、車両本体の取扱説明書を参照してください。

本書を読んで製品の使用方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑のかからない、適切な方法でご使用ください。

この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

この機械のメンテナンスは、専門知識のある整備士が実施してください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽にバロネス販売代理店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせの際には、必ずこの製品の機種名と製造番号をお知らせください。

この製品を貸与または、譲渡する場合はこの製品と一緒に本書をお渡しください。

株式会社 共栄社

危険警告記号の説明

本書では安全に関する重要な取り扱い上の注意事項について、危険警告記号を使用し、次のように表示しています。

 696cq5-001	危険警告記号
この記号は「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。 いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。 これらを遵守されない場合、事故につながるおそれがあります。	
 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。  警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあるものを示しています。  注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。 重要 製品の構造などの注意点を示しています。	

はじめに

使用上の注意

注意

本書記載事項は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

部品交換を行う場合は、必ず「BARONESS 純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。

純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

この製品を使用する前に下記の取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。

- ・ バロネス製品の取扱説明書

使用目的

このアタッチメントは、ゴルフ場の芝草刈り作業を目的とした機械です。

この目的以外で使用したり、機械の改造をしないでください。

このアタッチメントをその他の目的で使用したり、改造すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。

安全	Page 1-1
安全上の注意事項	Page 1-2
廃棄	Page 2-1
リサイクルおよび廃棄処分	Page 2-2
製品概要	Page 3-1
仕様	Page 3-2
各部の名称	Page 3-3
規制ラベル	Page 3-3
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-4
取り扱い説明	Page 4-1
取り扱いに関する注意	Page 4-2
取り付け前の調整	Page 4-2
点検	Page 4-9
締め付けトルク	Page 4-10
作業	Page 4-13
保管	Page 4-14
メンテナンス	Page 5-1
メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-3
グリースアップ	Page 5-4
メンテナンスの方法	Page 5-4

安全上の注意事項 Page 1-2

安全

誤使用や整備不良は負傷や死亡事故につながります。

危険

この製品は、安全な取り扱いができるように設計されており、工場出荷時には十分な試運転や検査を重ねた上で出荷しております。

事故防止のための安全装置は装備しておりますが、これらは適切な操作、取り扱い、および日常の管理方法が大きく影響します。

この製品を適切に使用または管理しない場合、人身事故につながるおそれがあります。

以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

安全上の注意事項

安全上の注意事項は、このアタッチメントが取り付けられているバロネスの車両本体の取扱説明書を熟読してください。

リサイクルおよび廃棄処分Page 2-2

リサイクルについて Page 2-2

廃棄処分についてPage 2-2



リサイクルおよび廃棄処分

リサイクルについて

バッテリーなどは環境保護および資源の有効活用のためにリサイクルされることを推奨します。
また、地域によっては法律により義務付けられています。

廃棄処分について

整備、修理などの作業で出た廃棄物については、地域の法律に従って適切に処分してください。
(例：廃油、不凍液、ゴム製品、配線など)

仕様	Page 3-2
仕様表	Page 3-2
グラスキャッチャーの特性	Page 3-3
各部の名称	Page 3-3
規制ラベル	Page 3-3
規制ラベル貼付位置	Page 3-3
規制ラベルの説明	Page 3-3
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-4
警告ラベルと指示ラベルについて	Page 3-4
警告ラベル・指示ラベル貼付位置	Page 3-4
警告ラベル・指示ラベルの説明	Page 3-4

製品概要

仕様

仕様表

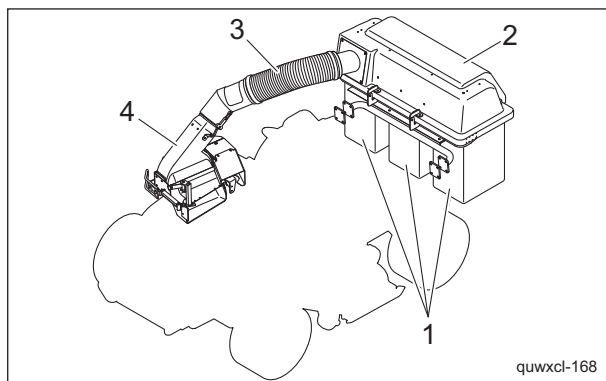
機種名			GM1700 用グラスキャッチャー	
名称			GM1700 用グラスキャッチャー	
寸法	全長		[321 cm]	[126.38 in]
	全幅		[200 cm]	[78.74 in]
	全高	ルーフ	[190 cm]	[74.80 in]
		ハンドル	[121 cm]	[47.64 in]
		集草装置	[134 cm]	[52.76 in]
質量			70 kg [922 kg]	154.32 lb [2,032.63 lb]
集草バッグ数			3 袋	
集草容量			100 L x 3 袋	3.53 ft ³ x 3 袋

※ [] 内は、GM1700 車両本体（燃料タンク空/ロールバー付）+スタンダードデッキに装着時。

グラスキャッチャーの特性

1. 刈り込み作業と同時に集草作業が可能です。
2. スタンダードデッキへの取り付けが可能です。

各部の名称

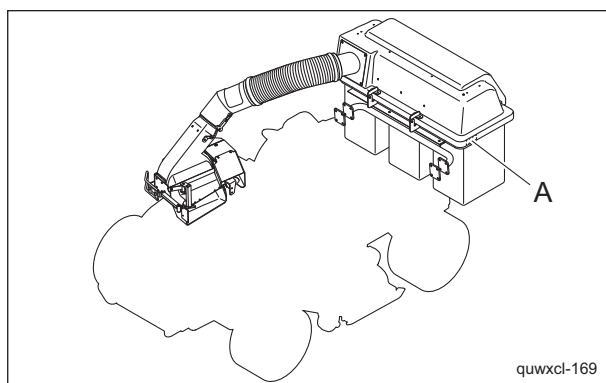


各部の名称_001

1	集草バッグ
2	キャッチャーカバー
3	ダクトホース
4	ブロワー

規制ラベル

規制ラベル貼付位置



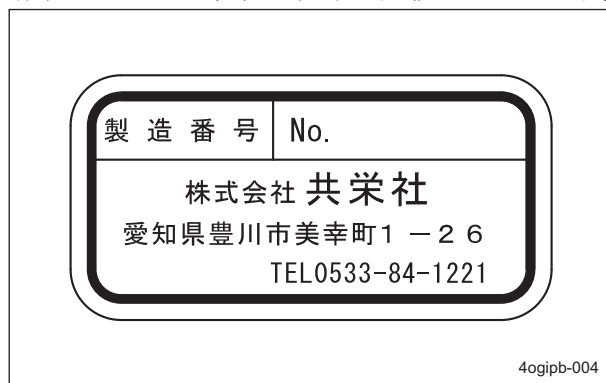
規制ラベル貼付位置_001

A	機番プレート
---	--------

規制ラベルの説明

機番プレート

機番プレートは、製造番号が記載されています。



機番プレート_001

製品概要

警告ラベルと指示ラベル

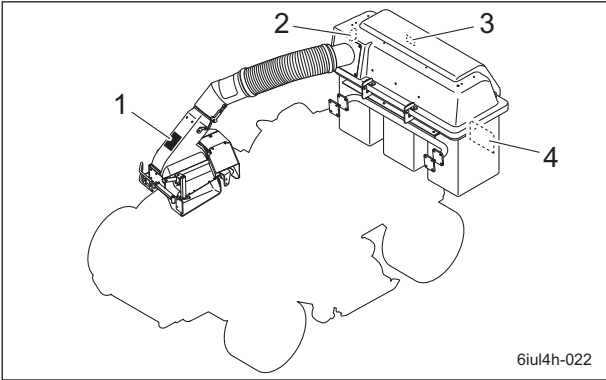
警告ラベルと指示ラベルについて

重要

このアタッチメントには、警告ラベルと指示ラベルが貼り付けられています。
ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、はがれがあった場合は、新しいものと交換してください。

交換するラベルの部品番号は、パーツカタログに記載されております。
購入販売店または弊社に注文してください。

警告ラベル・指示ラベル貼付位置



警告ラベル・指示ラベル貼付位置_001

1	飛散・回転物注意マーク
2	飛散物危険マーク
3	飛散物注意マーク
4	集草バッグ注意マーク

警告ラベル・指示ラベルの説明

飛散・回転物注意マーク

K4205001670
飛散・回転物注意マーク
飛散物や回転物に対する注意事項について記載されています。



飛散・回転物注意マーク_001

飛散物危険マーク

K4205001720
飛散物危険マーク
飛散物に対する注意事項について記載されています。



飛散物危険マーク_001

飛散物注意マーク

K4205001730

飛散物注意マーク

飛散物に対する注意事項について記載されています。



飛散物注意マーク_001

集草バッグ注意マーク

集草バッグ注意マーク

集草バックの取り扱いに関する注意事項について記載されています。

参考：

このマークは集草バッグに印刷されています。



集草バッグ注意マーク_001

取り扱いに関する注意	Page 4-2
取り付け前の調整	Page 4-2
グラスキャッチャーの取り付け方法	Page 4-2
点検	Page 4-9
カバー	Page 4-9
ベルト	Page 4-9
集草機	Page 4-9
締め付けトルク	Page 4-10
標準締め付けトルク	Page 4-10
重要締め付けトルク	Page 4-12
作業	Page 4-13
集草操作	Page 4-13
排出操作	Page 4-13
保管	Page 4-14
長期保管	Page 4-14

取り扱いに関する注意

重要

本書は、アタッチメントに関する取り扱いについて記載されています。
取り扱いについては、本書および、車両本体の取扱説明書をご参照ください。

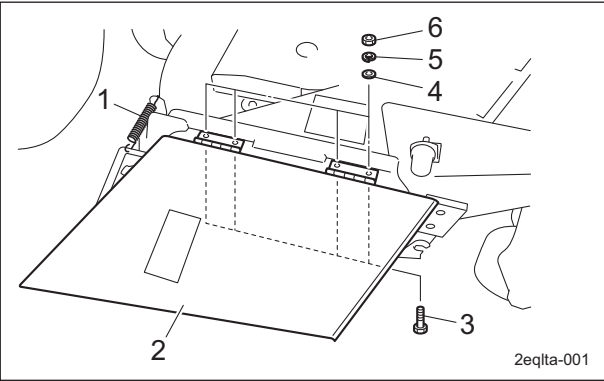
取り付け前の調整

グラスキャッチャーの取り付け方法

- 参考：
グラスキャッチャーは、スタンダードデッキにのみ装着可能です。
- 1. 車両本体とグラスキャッチャーを水平な所に置きます。
 - 2. 車両本体に不要な作業機が取り付けられている場合は、取り外します。
 - 3. ブローワーを取り付けます。
「ブローワーの取り付け方法」(Page 4-2)
 - 4. キャッチャーを取り付けます。
「キャッチャーの取り付け方法」(Page 4-6)
 - 5. ダクトホースを取り付けます。
「ダクトホースの取り付け方法」(Page 4-8)
- 参考：
グラスキャッチャーの取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。

ブローワーの取り付け方法

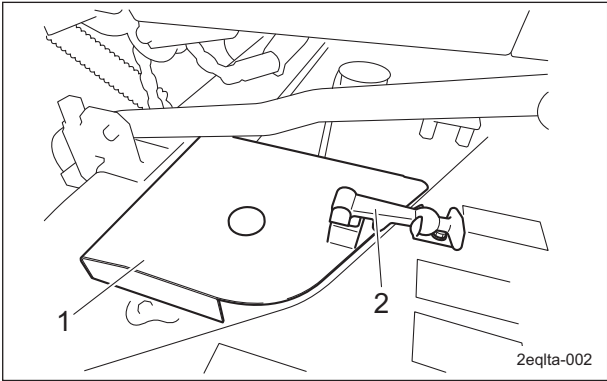
- 1. モアデッキのスプリングと防護カバーを取り外します。



ブローワーの取り付け方法_001

1	スプリング
2	防護カバー
3	ボルト
4	ワッシャー
5	S ワッシャー
6	ナット

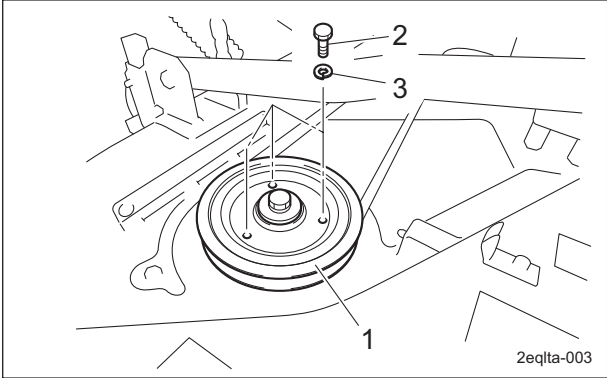
- 2. ゴムキャッチを外し、ベルトカバー右を取り外します。



ブローワーの取り付け方法_002

1	ベルトカバー右
2	ゴムキャッチ

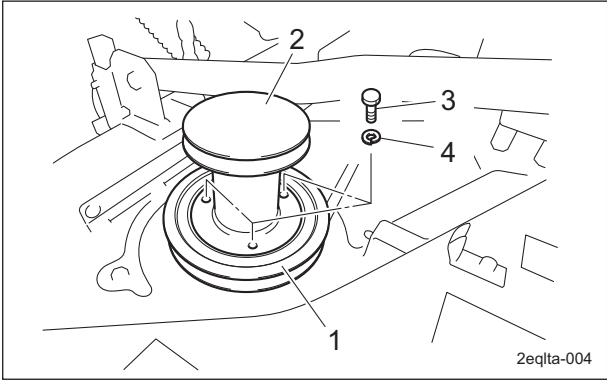
- 3. プーリー A に取り付けられているボルト、S ワッシャーを取り外します。



ブローワーの取り付け方法_003

1	プーリー A
2	ボルト
3	S ワッシャー

- 4. プーリー B を付属のボルト、S ワッシャーで取り付けます。

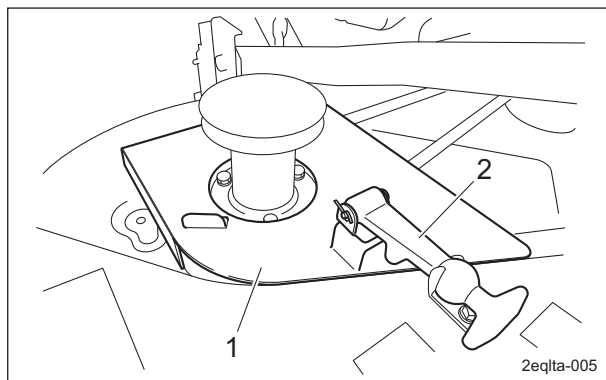


ブローワーの取り付け方法_004

取り扱い説明

1	プーリー A
2	プーリー B
3	ボルト
4	S ワッシャー

5. 付属のベルトカバーを取り付け、ゴムキャッチで留めます。

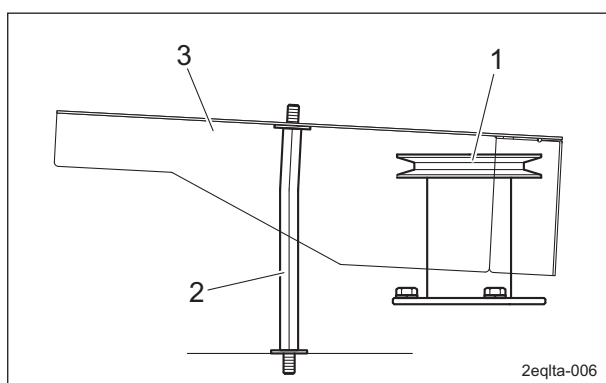


ブローの取り付け方法_005

1	ベルトカバー
2	ゴムキャッチ

重要

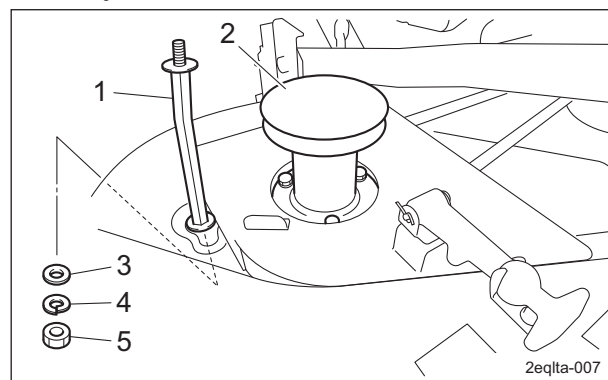
ベルトカバー取り付けボルトには向きがあります。取り付ける際は、向きを間違えないように注意してください。



ブローの取り付け方法_006

1	プーリー B
2	ベルトカバー取り付けボルト
3	ベルトカバー A

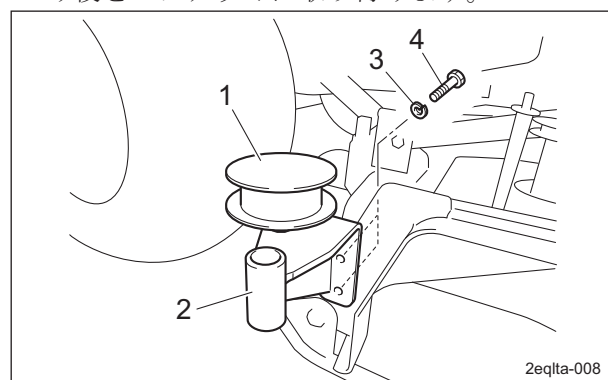
6. ベルトカバー取り付けボルトを取り付けます。ベルトカバー取り付けボルトの先端が、プーリー B に向かって傾くように取り付けてください。



ブローの取り付け方法_007

1	ベルトカバー取り付けボルト
2	プーリー B
3	ワッシャー
4	S ワッシャー
5	ナット

7. プーリー C を取り付けているブロー取り付け後をモアデッキに取り付けます。

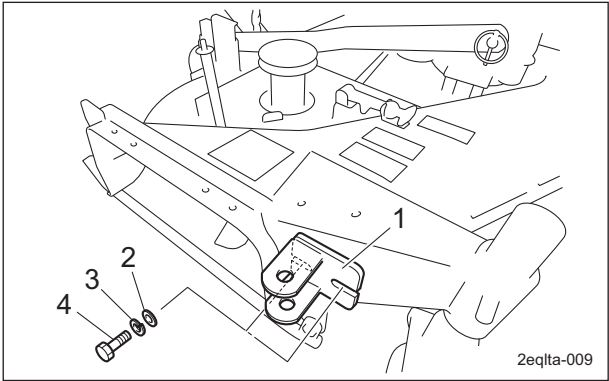


ブローの取り付け方法_008

1	プーリー C
2	ブロー取り付け後
3	S ワッシャー
4	ボルト

取り扱い説明

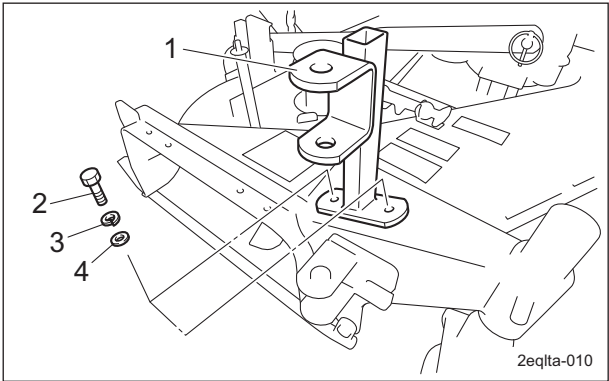
8. ブロワー取り付け前をモアデッキに仮に取り付けます。



ブロワーの取り付け方法_009

1	ブロワー取り付け前
2	ワッシャー
3	S ワッシャー
4	ボルト

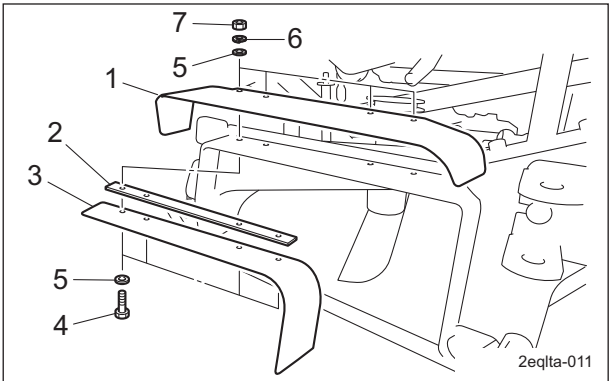
9. ブロワー取り付け金をモアデッキに仮に取り付けます。



ブロワーの取り付け方法_010

1	ブロワー取り付け金
2	ボルト
3	S ワッシャー
4	ワッシャー

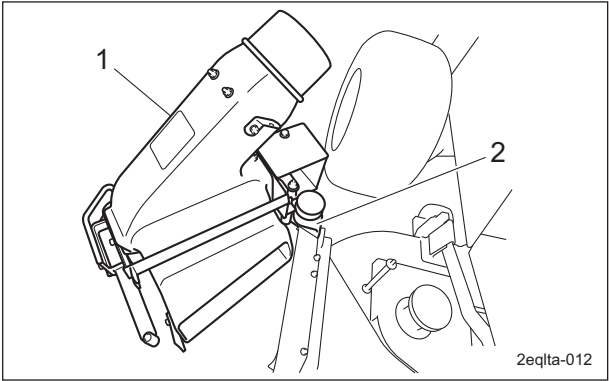
10. 連結カバー、取り付け板、連結インナーカバーを取り付けます。



ブロワーの取り付け方法_011

1	連結カバー
2	取り付け板
3	連結インナーカバー
4	ボルト
5	ワッシャー
6	S ワッシャー
7	ナット

11. ブロワー Assy をブロワー取り付け後に差し込みます。



ブロワーの取り付け方法_012

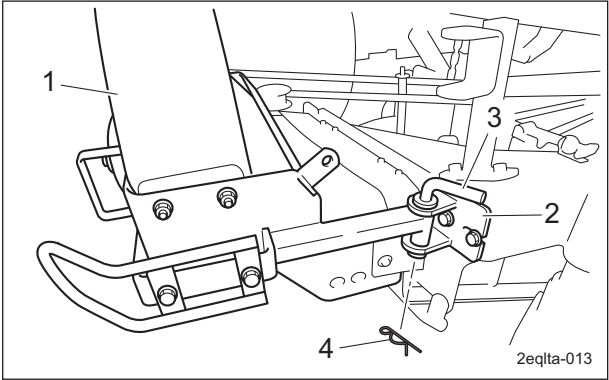
1	ブロワー Assy
2	ブロワー取り付け後

重要

ピンがスムーズに抜き差しできる程度にブロワー取り付け前とブロワー取り付け金の取り付け位置を調整してください。

12. 仮に取り付けてあるブロワー取り付け前とブロワー取り付け金を締め込みます。

13. ブロワー Assy とブロワー取り付け前をピンで取り付け、スナップピンで留めます。

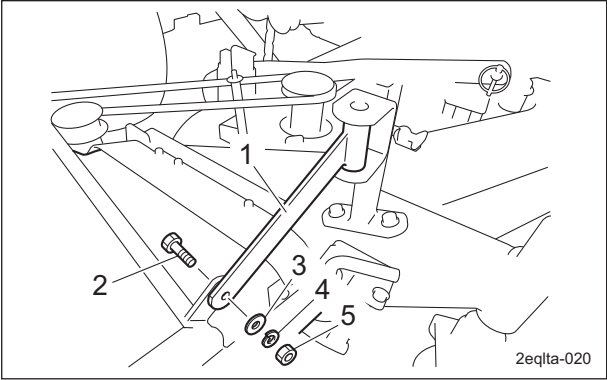


ブロワーの取り付け方法_013

1	ブロワー Assy
2	ブロワー取り付け前
3	ピン
4	スナップピン

取り扱い説明

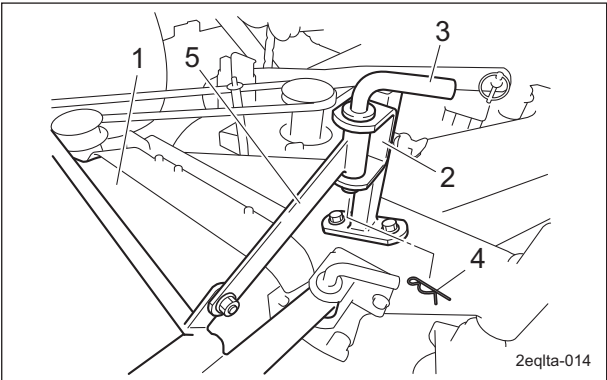
14. 補強板を取り付けます。



ブロワーの取り付け方法_014

1	補強板
2	ボルト
3	ワッシャー
4	Sワッシャー
5	ナット

15. 補強板とブロワー取り付け金をピンで取り付け、スナップピンで留めます。

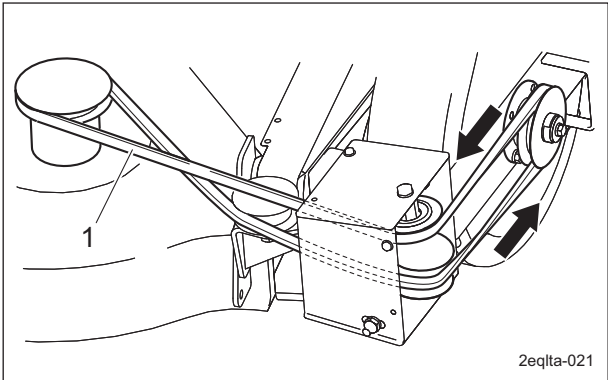


ブロワーの取り付け方法_015

1	ブロワー Assy
2	ブロワー取り付け金
3	ピン
4	スナップピン
5	補強板

16. ベルトを通します。

参考：
矢印は作業時のベルトの回転方向です。



ブロワーの取り付け方法_016

1	ベルト
---	-----

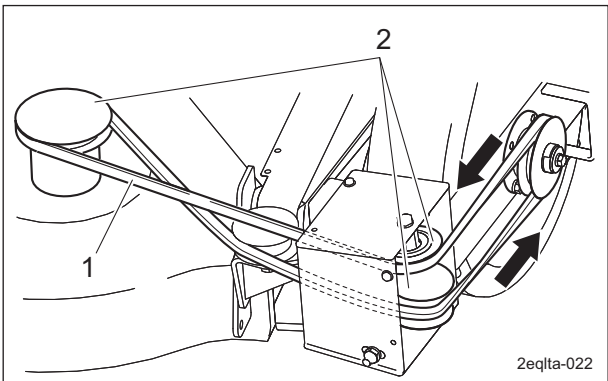
17. ベルトの張り具合を調整してください。

「ベルトの張り調整」(Page 5-6)

18. エンジンを始動します。

19. ナイフ回転レバーを「回転」側に入れ、ベルトを回転させます。

20. ベルトがプーリーに正しく掛っていることを確認してください。



ブロワーの取り付け方法_017

1	ベルト
2	プーリー

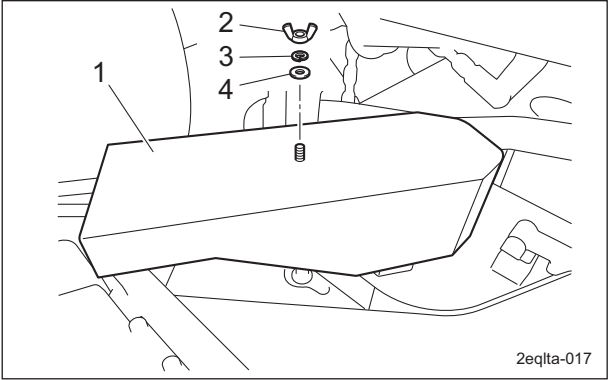
21. エンジンを停止します。

22. 必要に応じて、ベルトの張り具合を再度調整してください。

「ベルトの張り調整」(Page 5-6)

取り扱い説明

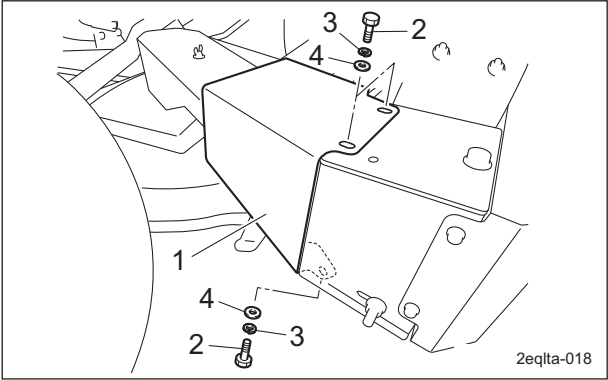
23. ベルトカバー A を取り付けます。



ブロワーの取り付け方法_018

1	ベルトカバー A
2	蝶ナット
3	S ワッシャー
4	ワッシャー

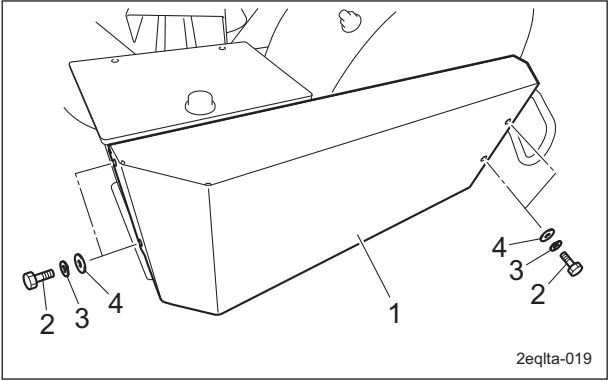
24. ベルトカバー B を取り付けます。



ブロワーの取り付け方法_019

1	ベルトカバー B
2	ボルト
3	S ワッシャー
4	ワッシャー

25. ベルトカバー C を取り付けます。



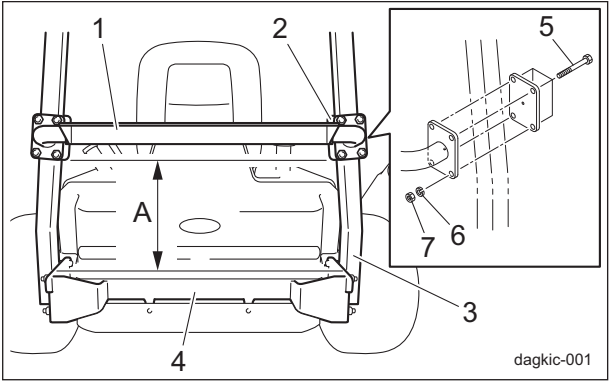
ブロワーの取り付け方法_020

1	ベルトカバー C
2	ボルト
3	S ワッシャー
4	ワッシャー

参考：
ブロワーの取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。

キャッチャーの取り付け方法

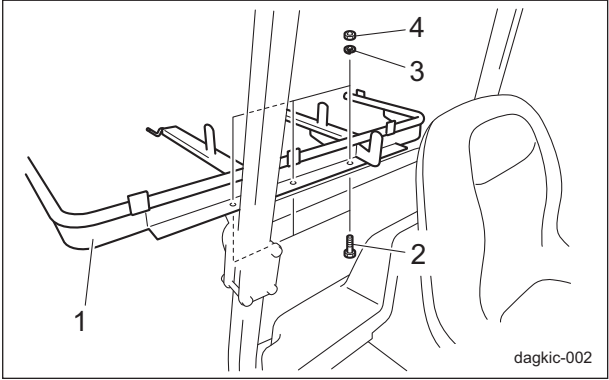
1. キャッチャー取り付け金と取り付け板をロールバーに取り付けます。



キャッチャーの取り付け方法_001

1	キャッチャー取り付け金
2	取り付け板
3	ロールバー
4	車両本体
5	ボルト
6	S ワッシャー
7	ワッシャー
A	約 350 mm

2. キャッチャーフレームを取り付けます。

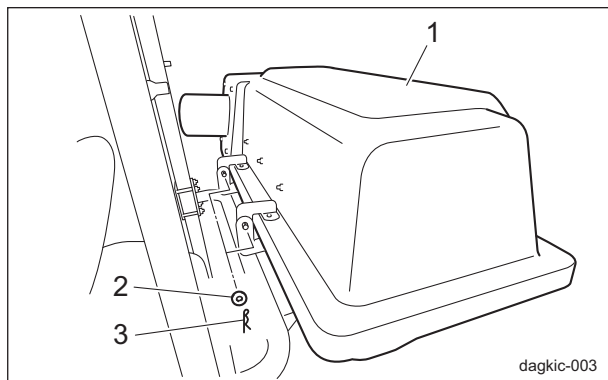


キャッチャーの取り付け方法_002

1	キャッチャーフレーム
2	ボルト
3	S ワッシャー
4	ナット

取り扱い説明

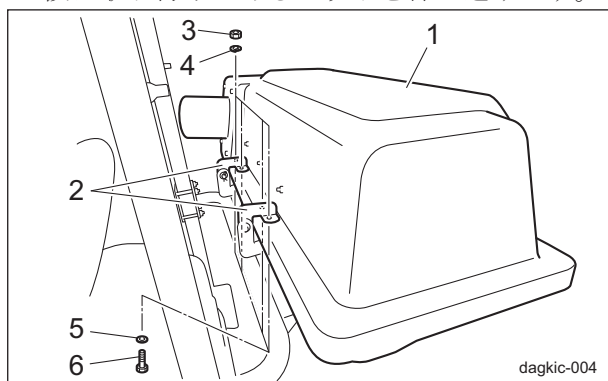
3. キャッチャーカバーを取り付けます。



キャッチャーの取り付け方法_003

1	キャッチャーカバー
2	ワッシャー
3	スナップピン

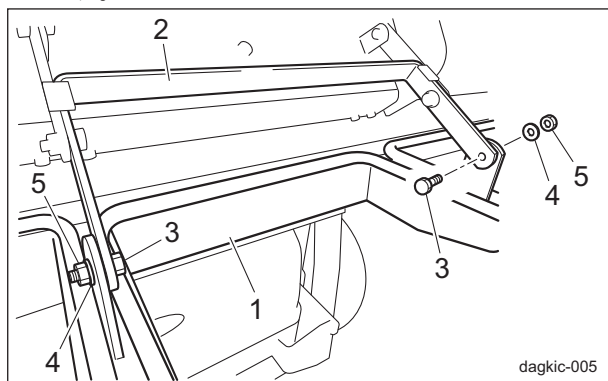
4. キャッチャーカバーとヒンジの位置を調整し、仮に取り付けてあるナットを締め込みます。



キャッチャーの取り付け方法_004

1	キャッチャーカバー
2	ヒンジ
3	ナット
4	S ワッシャー
5	ワッシャー
6	ボルト

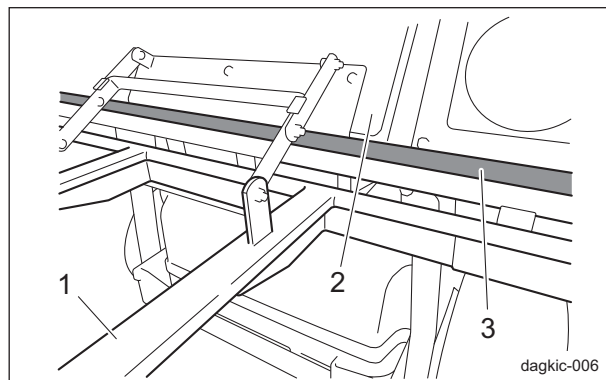
5. リンク板をキャッチャーフレームに取り付けます。



キャッチャーの取り付け方法_005

1	キャッチャーフレーム
2	リンク板
3	ボルト
4	ワッシャー
5	U ナット

6. キャッチャーカバーにゴムスポンジを貼り付けます。

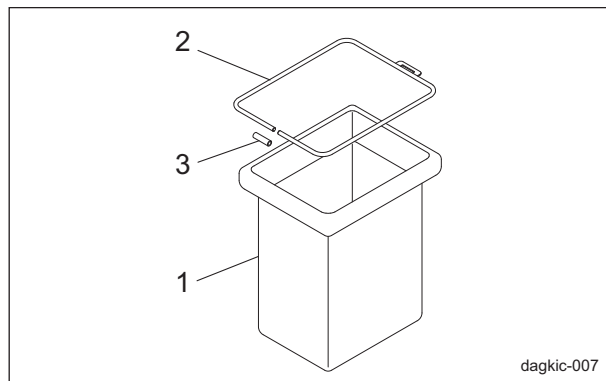


キャッチャーの取り付け方法_006

1	キャッチャーフレーム
2	キャッチャーカバー
3	ゴムスポンジ

7. キャッチャーカバーがスムーズに開閉できることを確認してください。

8. 集草バッグ枠を集草バッグに取り付けます。

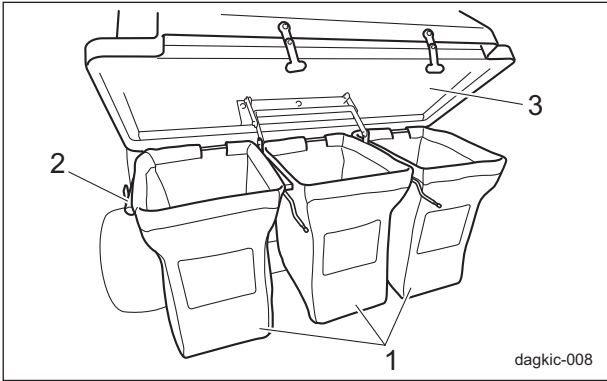


キャッチャーの取り付け方法_007

1	集草バッグ
2	集草バッグ枠
3	ホース

取り扱い説明

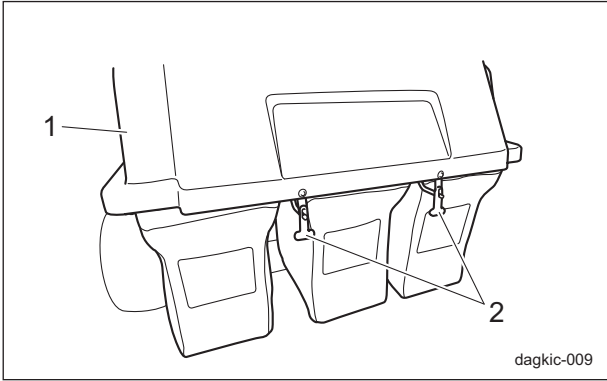
9. 集草バッグをキャッチャーフレームに取り付けます。



キャッチャーの取り付け方法_008

1	集草バッグ
2	キャッチャーフレーム
3	キャッチャーカバー

10. キャッチャーカバーを閉め、ゴムキャッチを留めます。



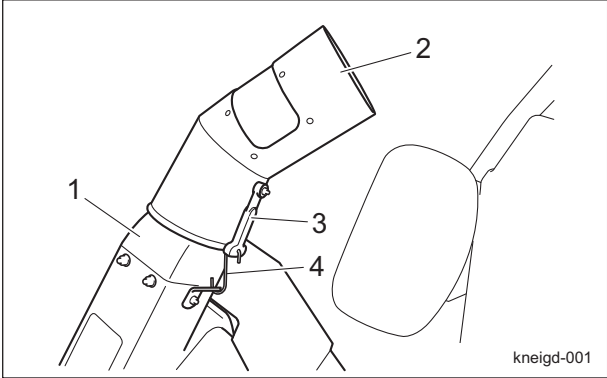
キャッチャーの取り付け方法_009

1	キャッチャーカバー
2	ゴムキャッチ

参考：
キャッチャーの取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。

ダクトホースの取り付け方法

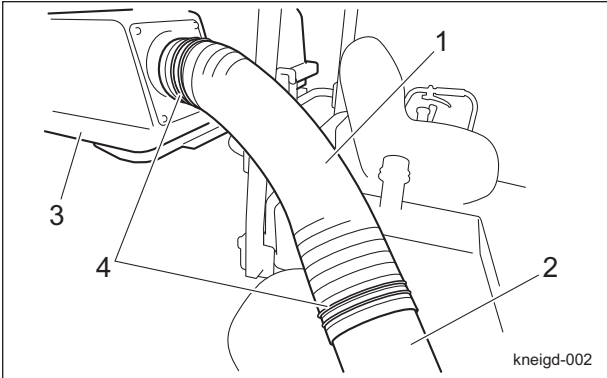
1. ブロワーに継ぎパイプを差し込み、ゴムキャッチとフックで留めます。



ダクトホースの取り付け方法_001

1	ブロワー
2	継ぎパイプ
3	ゴムキャッチ
4	フック

2. ダクトホースを継ぎパイプとキャッチャーカバーに取り付け、バンドで留めます。



ダクトホースの取り付け方法_002

1	ダクトホース
2	継ぎパイプ
3	キャッチャーカバー
4	バンド

3. バンドがホースの溝にきちんとはまっていることを確認してください。

点検

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、メンテナンススケジュールに従って点検をしてください。

カバー

カバーの点検



警告

点検時に防護カバーを取り外した場合は、必ず元の位置に確実に取り付けてください。
防護カバーが取り外されていると、異物が飛散してケガをするおそれがあります。

1. ロータリーカバーおよび防護カバーなどに磨耗や劣化が無いか確認してください。
2. ロータリーカバーおよび防護カバーなどに破損が無いか確認してください。
3. ロータリーカバーおよび防護カバーなどに変形による可動部への干渉が無いか確認してください。
4. 防護カバーなどが所定の位置に取り付けられているか確認してください。

ベルト

ベルトの点検



警告

ベルトの点検は、必ずエンジンを停止させた状態で行ってください。



警告

点検時にカバーなどを取り外した場合は、必ず元の位置に確実に取り付けてください。
カバーなどが取り外されていると、回転物やベルトに触れたり、異物が飛散してケガをするおそれがあります。

1. ベルトの中央を指で押さえて、張り具合を確認してください。
2. 亀裂、損傷、異常磨耗が無いか確認してください。

集草機

ブローの点検

1. ブローに磨耗や破損が無いか確認してください。
2. アンダーカバーに磨耗や破損が無いか確認してください。
3. ファンに曲がり、破損が無いか確認してください。
4. インナープレートの磨耗や破損、変形による可動部への干渉が無いか確認してください。

ダクトホースの点検

1. ダクトホースに劣化や破損が無いか確認してください。
2. ダクトホースが外れていないか確認してください。

キャッチャーの点検

1. キャッチャーカバーに破損が無いか確認してください。
2. 集草バッグに傷や破れが無いか確認してください。
3. 集草バッグが必要数、所定の位置に取り付けられているか確認してください。

取り扱い説明

締め付けトルク

重要

締め付けトルク一覧を参照してください。
異常な締め付け、オーバートルクでの締め付けなどで生じた不具合については、弊社では責任を負いかねます。

標準締め付けトルク

ボルト、ねじ類

重要

各部には、ボルト止めが多く使われております。
使用初期はボルト、ナットなどの緩みが出る場合がありますので、必ず増し締めを行ってください。

特別指示の無いボルト、ナットは、適切な工具により適正な締め付けトルクで締め付けてください。
締め付けが強すぎると「ねじ」は緩んだり、破損したりします。
締め付け強さは、ねじの種類、強度、ねじ面や座面の摩擦などで決めております。
一覧表は、亜鉛メッキまたはパーカー処理したボルトを対象としております。
めねじの強度が弱い場合は適用できません。
さびていたり、砂などが付着している「ねじ」は、使用しないでください。
所定の締め付けトルクを与えても締め付け不足になります。
ねじ面の摩擦が大きくなり、締め付けトルクのほとんどを摩擦損失し、締め付ける力になりません。
「ねじ」が水や油で濡れている場合は、通常の締め付けトルクで締めないでください。
ねじが濡れるとトルク係数が小さくなり、締め過ぎになります。
締め過ぎると、ねじが伸びて緩んだり、破損することがあります。
一度、大きな負荷がかかったボルトは、使用しないでください。
インパクトレンチで締めるときは、熟練が必要です。
できるだけ安定した締め付け作業ができるように練習してください。

取り扱い説明

呼び径	一般ボルト		
	強度区分 4.8		
	 tib3yb-001		
	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	3 - 5	30.59 - 50.99	26.55 - 44.26
M6	7 - 9	71.38 - 91.77	61.96 - 79.66
M8	14 - 19	142.76 - 193.74	123.91 - 168.17
M10	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34
M12	52 - 67	530.24 - 683.20	460.25 - 593.02
M14	70 - 94	713.79 - 958.52	619.57 - 831.99
M16	88 - 112	897.34 - 1142.06	778.89 - 991.31
M18	116 - 144	1,182.85 - 1,468.37	1,026.72 - 1,274.54
M20	147 - 183	1,498.96 - 1,866.05	1,301.10 - 1,619.73
M22	295	3,008.12	2,611.05
M24	370	3,772.89	3,274.87
M27	550	5,608.35	4,868.05
M30	740	7,545.78	6,549.74

呼び径	調質ボルト					
	強度区分 8.8			強度区分 10.9		
	 tib3yb-002			 tib3yb-003		
	N-m	kgf-cm	lb-in	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	5 - 7	50.99 - 71.38	44.26 - 61.96	7 - 10	71.38 - 101.97	61.96 - 88.51
M6	8 - 11	81.58 - 112.17	70.81 - 97.36	14 - 18	142.76 - 183.55	123.91 - 159.32
M8	23 - 29	234.53 - 295.71	203.57 - 256.68	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34
M10	45 - 57	458.87 - 581.23	398.30 - 504.51	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68
M12	67 - 85	683.20 - 866.75	593.02 - 752.34	104 - 134	1,060.49 - 1,366.40	920.50 - 1186.03
M14	106 - 134	1,080.88 - 1,366.40	938.21 - 1,186.03	140 - 188	1,427.58 - 1,917.04	1,239.14 - 1,663.99
M16	152 - 188	1,549.94 - 1,917.04	1,345.35 - 1,663.99	210 - 260	2,141.37 - 2,651.22	1,858.71 - 2,301.26
M18	200 - 240	2,039.40 - 2,447.28	1,770.20 - 2,124.24	280 - 340	2,855.16 - 3,466.98	2,478.28 - 3,009.34
M20	245 - 295	2,498.27 - 3,008.12	2,168.50 - 2,611.05	370 - 450	3,772.89 - 4,588.65	3,274.87 - 3,982.95
M22	—	—	—	530	5,404.41	4,691.03
M24	—	—	—	670	6,831.99	5,930.17
M27	—	—	—	1,000	10,197.00	8,851.00
M30	—	—	—	1,340	14,628.78	11,860.34

参考：

「細目ねじ」についても、同じ数値とする。

取り扱い説明

重要締め付けトルク

機種別締め付けトルク

GM1700_グラスキャッチャー／ハイダンプスーパー
次のボルト、ナットは下記のトルクで締め付けてください。
ねじ緩み止め剤は、ネジロック中強度（スリーボンド 1322 相当品 嫌気性強力封着剤）を塗布してください。

部位	コード番号	品名	締め付けトルク			ねじ緩み止め剤
			N-m	kgf-cm	lb-in	
ブロープーリー	K0010080152	8 調質ボルト 15	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34	—

作業

集草操作

⚠ 注意

ブロワーやダクトホースが詰まった場合は、エンジンを停止してから詰まりを取り除いてください。

⚠ 注意

集草バッグが満量になった場合は、速やかに作業を中止し、排出を行ってください。

重要

芝草が湿った状態での作業は、ブロワー・ダクトホースが詰まる原因になります。
集草作業は、できるだけ芝草が乾いているときに行ってください。

重要

長い芝草を一度に刈り込みし、集草作業をするとブロワー・ダクトホースが詰まる原因になります。
一番高い刈高で作業し、再度希望の刈高で作業するなど、状況に合わせた作業を行ってください。

ブロワーの回転は、ロータリーナイフの回転に連動しています。

- ・ ナイフ回転レバーを「回転」側にすると、ブロワーが回転します。
- ・ ナイフ回転レバーを「停止」側にすると、ブロワーの回転が停止します。

集草操作は、車両本体の取扱説明書「刈り込み操作」を参照してください。

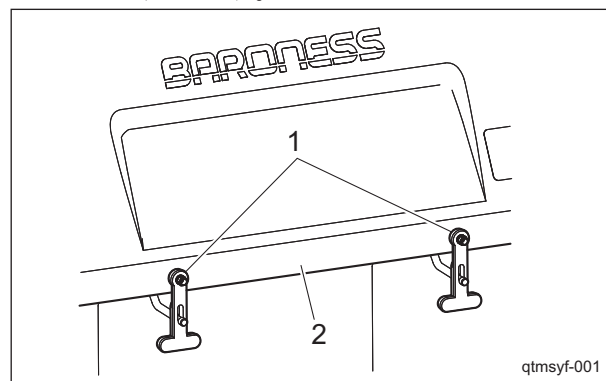
排出操作

⚠ 注意

ロータリーナイフやブロワーの回転中は、カバーを開けないでください。
飛散物により、ケガをするおそれがあります。

1. 平坦な安定した場所で車体を停車させ、駐車ブレーキをかけます。
2. エンジンを停止します。

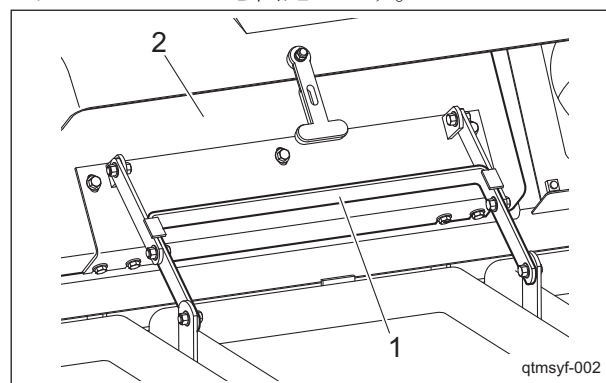
3. ゴムキャッチを外し、キャッチャーカバーを持ち上げて開けます。



排出操作_001

1	ゴムキャッチ
2	キャッチャーカバー

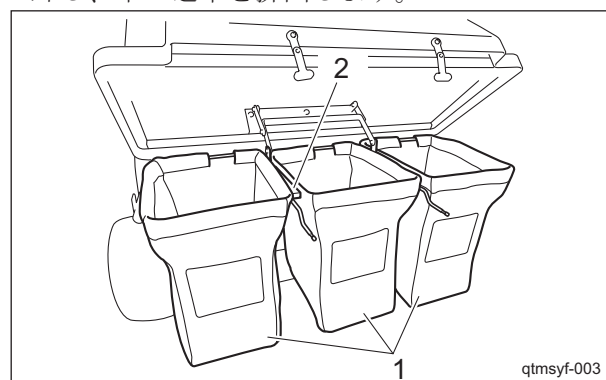
4. リンクでカバーを固定します。



排出操作_002

1	リンク
2	カバー

5. 集草バッグをキャッチャーフレームから取り外し、中の芝草を排出します。



排出操作_003

1	集草バッグ
2	キャッチャーフレーム

6. 集草バッグをキャッチャーフレームに取り付けます。

取り扱い説明

7. キャッチャーカバーを閉め、ゴムキャッチを留めます。

保管

長期保管

この機械を長期保管するときは、下記の指示に従ってください。

1. 清掃
 - ・ 泥や草屑、油汚れなどをきれいに落としてください。
2. 注油
 - ・ 各注油箇所にグリース注入、塗布と注油をしてください。
3. 格納場所
 - ・ 雨のかからない乾燥した場所で、カバーなどをかけてください。

メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-3
調整値	Page 5-3
グリースアップ	Page 5-4
グリースアップについて	Page 5-4
グリースアップ位置	Page 5-4
メンテナンスの方法	Page 5-4
集草バッグの清掃	Page 5-4
キャッチャーカバーの清掃	Page 5-4
ダクトホース・ブロワーの清掃	Page 5-5
ベルトの張り調整	Page 5-6

メンテナンス

メンテナンス上の注意

警告

本書に記載する「メンテナンス」の章は、専門知識のある整備士が行うべきメンテナンスの項目について説明しています。
オーナーは、専門知識のある整備士がこの機械のメンテナンスを実施するように指導してください。

注意

実施するメンテナンスを熟知してから行ってください。

重要

メンテナンスを行う際に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。

重要

常に安全に、最高の性能でお使い頂くために、交換部品やアクセサリーは BARONESS 純正部品をお求めください。
純正部品以外の部品をご使用になった場合、製品保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、メンテナンススケジュールに従ってメンテナンスをしてください。

メンテナンススケジュール

GM1700 用グラスキャッチャー
メンテナンススケジュールは、以下のとおりです。
○・・・点検、調整、補給、清掃
●・・・交換（初回）
△・・・交換

メンテナンス項目		作業前	作業後	8 時間ごと	10 時間ごと	50 時間ごと	100 時間ごと	200 時間ごと	250 時間ごと	300 時間ごと	400 時間ごと	500 時間ごと	1 年ごと	2 年ごと	3 年ごと	4 年ごと	備考
グラスキャッチャー	各部の締め付け	○															
	グリースアップ・注油					○											
	V ベルト	○											△				
	カバー	○															
	ファン	○															
	ダクト	○															
	外観清掃		○														

・ 消耗品については、保証値ではありません。

調整値

駆動ベルト	スプリングのコイル長 62.0 mm (2.44 in)	スプリングのコイル長を 5.0 mm (0.2 in) 伸ばす
-------	------------------------------	---------------------------------

メンテナンス

メンテナンス

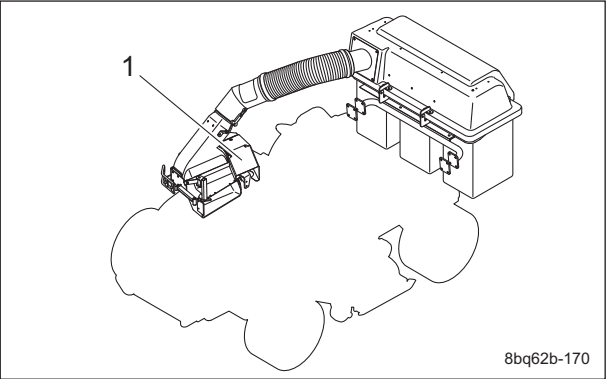
グリースアップ

グリースアップについて

可動部がグリース切れにより、固着したり、破損したりする可能性がありますので、グリースアップの必要性があります。
メンテナンススケジュールに従って、ウレア系 2 号グリースでグリースアップしてください。
その他指定のグリース、潤滑油を使用する場所は、「グリースアップ位置」に記載されています。
指定のグリース、潤滑油でグリースアップしてください。

グリースアップ位置

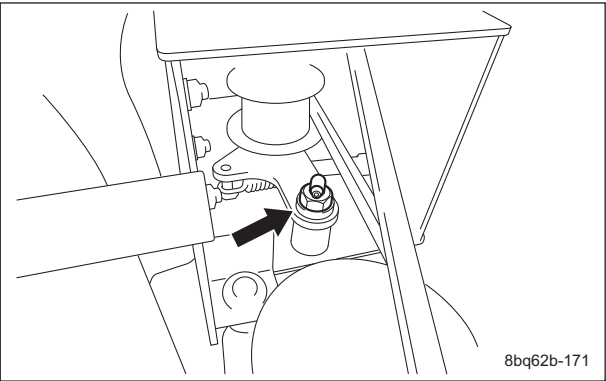
次の場所にグリースニップルが取り付けられています。
50 時間ごとにグリースアップしてください。



グリースアップ位置_001

	部位	注油箇所数
1	テンションレバー支点部	1

1. テンションレバー支点部



グリースアップ位置_002

メンテナンスの方法

集草バッグの清掃

⚠ 注意

集草バッグを乾燥させるときは、乾燥機を使用しないでください。
火災の原因となります。

作業後は、集草バッグの清掃を行ってください。
また、集草バッグは定期的に洗浄してください。
特に湿った芝草を集草した場合は、必ず洗浄してください。

1. エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。
2. 集草バッグを取り外してください。
3. 集草バッグの裏表を水または圧縮空気ですばやく清掃してください。
4. 集草バッグを中性洗剤と水で洗浄してください。
5. 洗浄した集草バッグを自然乾燥させてください。

キャッチャーカバーの清掃

重要

キャッチャーカバーのネットが目詰まりすると、集草性能が低下します。

作業後は、キャッチャーカバーの清掃を行ってください。
また、キャッチャーカバーは定期的に洗浄してください。
特に湿った芝草を集草した場合は、必ず洗浄してください。

1. エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。
2. キャッチャーカバーを開けてください。
3. キャッチャーカバー内側のネットを水または圧縮空気ですばやく清掃してください。

ダクトホース・ブロワーの清掃

⚠ 注意

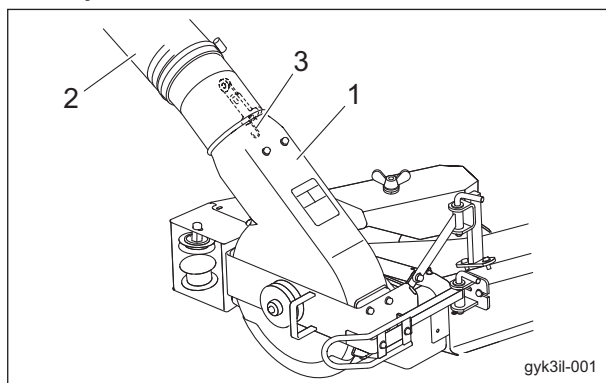
ロータリーナイフおよび、ブロワーが回転中は絶対にダクトホースを取り外さないでください。
飛散物により、ケガをするおそれがあります。

重要

ブロワーを取り付ける際は、ベルトがプーリー溝に正しく入っているか確認してください。

作業後または、ダクトホースが詰まった場合は、ダクトホース・ブロワーの清掃を行ってください。

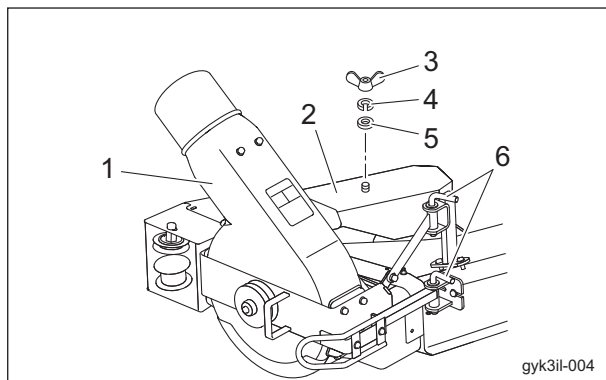
1. エンジン进行停止し、キーを抜き取ってください。
2. フックを外し、ダクトホースを抜き取ってください。



ダクトホース・ブロワーの清掃_001

1	ブロワー
2	ダクトホース
3	フック

3. ちょうナットを取り外し、ベルトカバーを取り外してください。
4. ピンを抜き、ブロワーを外側に引き出してください。



ダクトホース・ブロワーの清掃_002

1	ブロワー
2	ベルトカバー
3	ちょうナット
4	Sワッシャー
5	ワッシャー
6	ピン

5. ダクトホース、ブロワーに堆積した芝草を取り出し、清掃してください。

メンテナンス

ベルトの張り調整

 警告

ベルトの調整を行う場合は、必ずエンジンを停止してください。

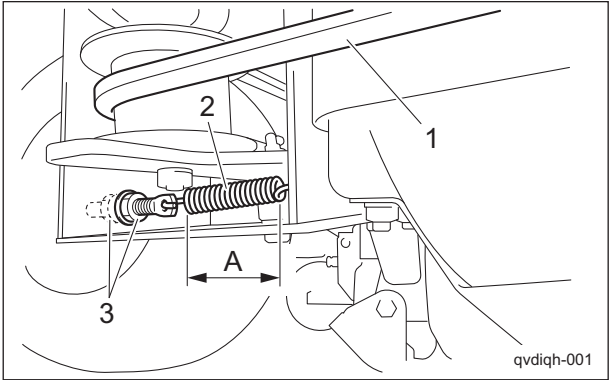
重要

ベルトの張り具合の確認は、ベルトを数回転させた後に行ってください。

使用頻度により、ベルトが緩いと踊ったり、スリップする可能性があります。
また、張り過ぎると損傷が早くなる可能性があります。
必要に応じて調整し、いつも適正な張り具合に保ってください。

駆動ベルト

1. ベルトの中央部を指で押さえて、張り具合を確認してください。
2. ベルトの張りが適正でない場合は、ロックナットで調整します。
テンションスプリングのコイル長さが 62.0 mm (2.44 in) になるように調整してください。
(スプリングのコイル長さを 5.0 mm (0.2 in) 伸ばす)

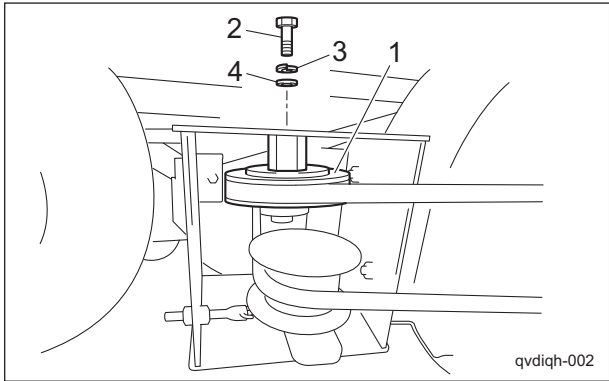


駆動ベルト_001

1	ベルト
2	テンションスプリング
3	ロックナット
A	62.0 mm

3. ロックナットで調整できない場合は、以下の要領で調整します。

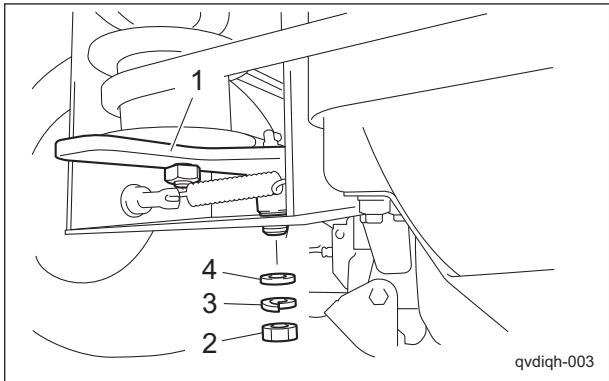
[1] プーリーの位置をボルトで調整します。



駆動ベルト_002

1	プーリー
2	ボルト
3	S ワッシャー
4	ワッシャー

- [2] テンションプーリーレバーの支点の段付ボルトの位置をナットで調整します。



駆動ベルト_003

1	テンションプーリーレバー
2	ナット
3	S ワッシャー
4	ワッシャー



株 式 会 社 共 栄 社

〒442- 8530

愛知県豊川市美幸町1- 26

TEL (0533) 84 - 1221

FAX (0533) 84 - 1220